

環境活動レポート

2016年度版

活動期間：2016年4月～2017年3月



2017年8月7日 発行

 **カイン工業** 株式会社

はじめに

当社は、カインシエレクトロニクス(株) (EA21登録番号:0001910) とカイングループを構成して、電気・電子機器、機械装置・器具の部品から完成品の製造及び自動組立・試験装置、等の受託製品並びに自社製品の設計・開発から加工、部品調達、組立試験、修理・アフターサービスを行っております。

板金加工で培った永年の経験と画像処理技術を駆使して設計・開発、板金加工、精密部品加工を糧に無限の可能性に挑戦し、お客様の“アイデアを実現”をビジョンとして提案型企業を目指しております。

1. 組織の概要

1) 組織名及び代表者名

カイン工業株式会社 代表取締役社長 塚田 進

2) 事業所名及び所在地

駒沢工場	〒381-0008 長野市大字下駒沢800-10
穂保工場	〒381-0003 長野市大字穂保436-15
新潟工場	〒959-0232 新潟県燕市吉田東栄町15番2号
豊野工場	〒389-1104 長野市豊野町浅野字欠高1836-1
開発部	〒381-0008 長野市大字下駒沢五反田793-1

3) 事業の内容

各種板金加工、金型の設計・製作及び精密機械加工、受託製品並びに自社開発製品の設計開発から製造・販売

4) 事業の規模

・敷地総面積	16,867㎡
・建物総面積	7,865㎡
・総従業員数	224名 (17年3月末現在)

新型受付案内システム



5) 当社の製品

“受付案内システム”

ご来訪者様をタッチパネルと音声により、御案内いたします。部門・部署を指定した呼び出しに加え、対応者の名前で直接検索も可能にして、誰でも容易にご使用できますので、受付業務の改善にお使いいただけます。

新型受付システムは、環境に配慮した設計で「消費電力 40W以下(省電力モード時 20W)」に低減、従来機種に対し、消費電力で15%(省電力モード時では33%)の削減を実現しております。



“インテリアトレイ”

ステンレスの素材を生かして、ヘアラインの美しさを感じられる質感インテリアとしての質感を備えた高級感を備えたトレイです。

“らくらくスタンド”

机の上を広く使えるように設計致しましたノートパソコン用の“らくらくスタンド”は、お使いいただいた皆様から、机の上が広がったとご好評をいただいております。



【お問い合わせ先】

総務部

電話 (026) 296-1551 Fax (026) 296-1631

2. 対象範囲

- 1) 認証・登録の対象及び活動範囲 <事業内容と同じ、今年度の審査にて改訂>
各種板金加工、金型の設計・製作及び精密機械加工、受託製品並びに自社開発製品の設計開発から製造・販売
- 2) 対象事業所
駒沢工場・穂保工場・新潟工場・豊野工場・開発部

3. 環境方針

環境方針

当社は、長野市及び新潟県燕市の地にあつて、あらゆる生産活動において、環境の保全と改善に努め、地域から地球規模に至るまで地球環境に配慮して行動することにより、「人と環境が調和した未来」に貢献致します。

1. エコアクション21 環境マネジメントシステムを活用した環境経営で環境マネジメントを推進するとともに継続的な改善を図ります。
2. 当社の活動、商品、サービスに関わる環境側面に留意し、原材料・部品の調達から生産、物流に至る「事業活動全体」で発生する環境負荷を低減するよう、消費エネルギーの削減、廃棄物の削減、有害化学物質の削減、グリーン調達、動植物の生息環境の保全活動で、持続可能な自然との共生社会の実現に向けた環境活動を推進します。
3. 環境に関する法規制及び条令、業界の同意する要求事項を順守し、地域社会との調和に努めます。
4. 日常業務や社内外の教育活動を通じ、環境保全に対する全社員の理解と意識の向上を図ります。

2015年 4月 1日

カイシン工業株式会社

環境管理責任者 吉田 秀嗣

 **カイシン工業** 株式会社

4. 環境目標・活動計画とその実績

4.1 2016年度の環境目標（第四期）

本活動の第四期(2014年度～2016年度)の活動に当たり、第三期の実績を分析した結果に、今後の事業予測を加味した目標を設定しました。

今年度は「第四期中期計画」の最終年であります。改めて2015年度実績を加味し、適正な企業成長を図りながら、環境負荷低減のため、中期目標を見直し継続的に改善を推進いたします。

【環境目標一覧】

中期目標	単年度目標		
	2014年度	2015年度	2016年度
二酸化炭素の排出量を 2013年度実績 12%増加	※1 16%増加 (2013年度実績比)	14%増加 (2013年度実績比)	12%増加 (2013年度実績比)
電力の単位当り使用量を 2013年度実績比 4%増加	※1 7%増加 (2013年度実績比)	±0%削減 (2013年度実績比)	4%増加 (2013年度実績比)
廃棄物の発生量を 2013年度実績比 2.5%削減	1.0%削減 (2013年度実績比)	1.5%削減 (2013年度実績比)	2.5%削減 (2013年度実績比)
水道水の使用量は 監視項目として推移を把握	※2 監視項目	監視項目	監視項目
スクラップ発生率を 2015年度実績の維持	※3 0.9%増加 (2013年度実績比)	0.4%削減 (2013年度実績比)	2015年度実績の維持
購入及び調達品の グリーン調達を推進	購入及び調達品の グリーン調達を維持 化学物質の調査	購入及び調達品の グリーン調達を維持 化学物質の調査	購入及び調達品の グリーン調達を維持 化学物質の調査
環境保全活動の推進 (社外活動に年間2回参加)	工場・周辺の美化活動 森林保全活動動に参加	工場・周辺の美化活動 森林保全活動動に参加	工場・周辺の美化活動 森林保全活動動に参加

【活動目標改定の概要】

※1 電力排出係数 (0.000473→0.000516 9%UP)、新加工設備の導入でのUPを見込む

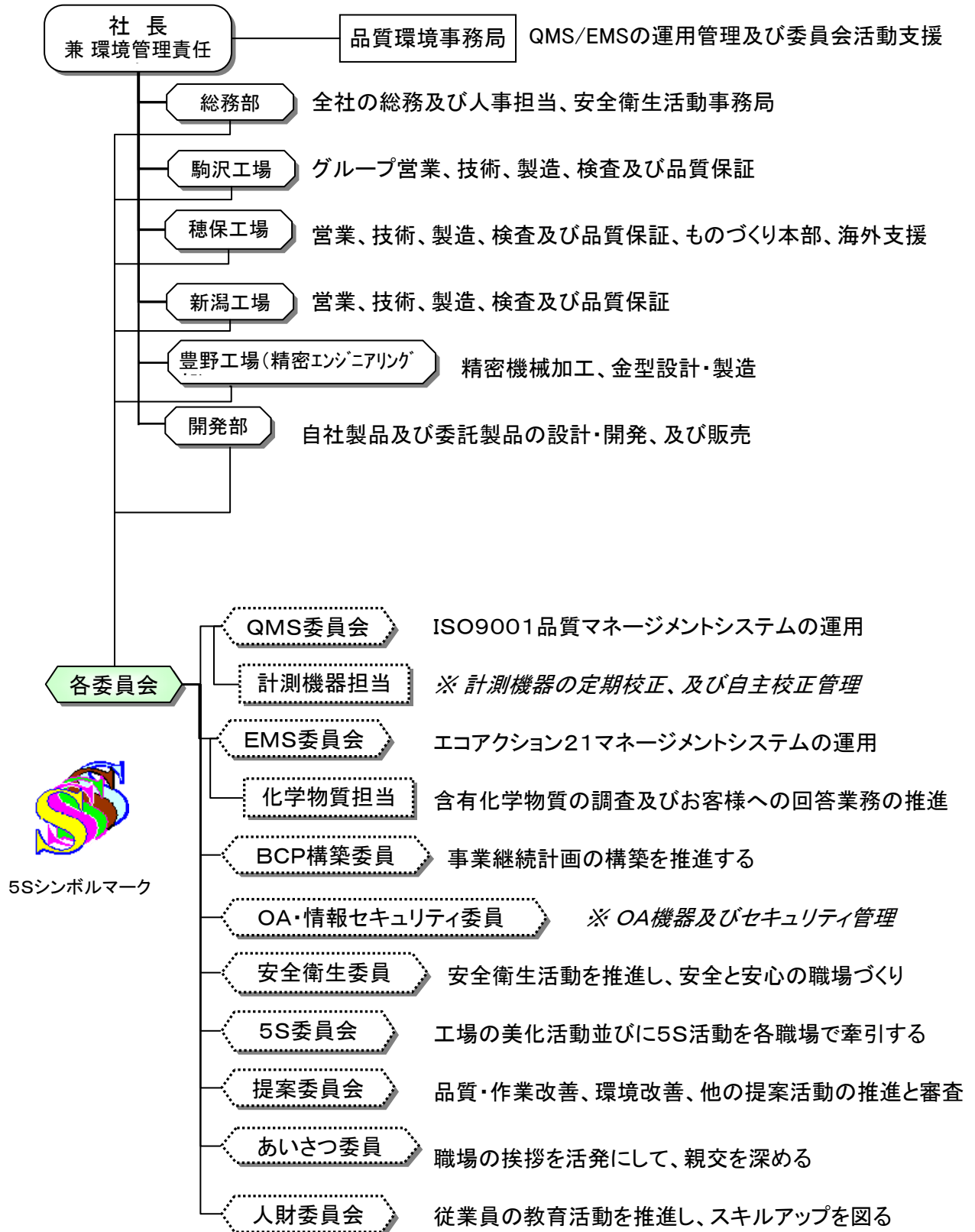
※2 生活排水のみの使用まで削減しましたので、監視項目とする

※3 製品が単体から複合品に変化しており、第三期実績から単年度のみ増加を見込む

4. 環境目標・活動計画とその実績 (続き)

4.2 目標達成のための活動組織

トップダウンによるマネジメント活動と全員参加のボトムアップで活動の活性化を目指す委員会活動との連携により、全員参加で「事業・品質・環境」の各目標達成を目指しております。



※ ものづくり本部の活動推進、計測機器担当及びOA・情報セキュリティ委員会を新設

4. 環境目標・活動計画とその実績（続き）

4.3 2016年度の環境目標と実績

2013年度実績を基準とした「第四期中期計画」に取り組んできました活動結果を報告致します。

1. 活動目標と実績一覧

目 標 項 目	年 度			2016年度		評 価	
	2013年 実績	2014 実績	2015 実績	目 標	実 績	単 年	通 期
二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂ /百万円)	576	510	529	771	490	○	○
(注1) CO ₂ 排出量 (ton)	1,478	1,525	1,541	—	1,468		
電力の使用量の削減 (Kwh/百万円)	1,175	945	998	1,210	903	○	○
年間電力量 (Kwh)	2,490	2,341	2,383	—	2,186		
廃棄物排出量の削減 (Kg/百万円)	13.73	13.09	9.63	13.38	8.30	○	○
廃棄物排出量 (Kg)	35,497	45,036	28,067	—	24,375		
(監)水道水使用量の削減 (m ³ /百万円)	1.27	1.05	1.11	1.22	0.93	○	○
用水使用量 (m ³)	2,754	2,676	2,651	—	2,640		
スクラップ発生率の削減 (%) (材料購入量に対する排出量)	46.8%	46.4%	47.0%	47.0%	41.3%	○	○
スクラップ量 (ton)	586.9	595.6	575.2	—	489.0		
環境保全活動の推進 社外活動への参加回数	長野1 新潟:2	長野1 新潟:2	長野1 新潟:2	年2回	長野2 新潟:2	○	○

注) 1. 二酸化炭素排出量における電力の換算係数は中部電力(株)を使用

第3期(2011～2013年度) 0.000473t-CO₂/KWh、第4期(2014～2016年度) 0.000516t-CO₂/kwh

2. 活動計画と結果の概要

第四期の最終年に当たり、5S活動の推進による合理化及びISO9001に基づく生産性向上活動を中心に進めてきました結果、全目標項目で前年度を下回ることができて、目標達成と合わせて大きな成果を得ることができました。

- 1) CO₂排出量では2011年(第三期)からの電力の排出係数の変更(9%UP)と受注増加を見込み増加目標を設定しましたが、生産性向上及び流れの改善による電力使用量の削減他で総排出量を押さえ達成いたしました。
- 2) 電力では新加工設備の導入、受注増加を見込んでおりましたが、1項同様の改善で設備稼働率が向上、並びに照明の改善等で削減を達成しております。
- 3) 廃棄物量は生産量の増加で資材・用材の一部が増加しましたが、可燃性ごみは減、殆どが再利用とリサイクル可能で、リサイクル率を上げて目標を達成しました。
- 4) スクラップ率は生産性の向上と品質改善により、目標を達成しました。今後も省資源化の重点課題として今後も改善に取り組んでいきます。

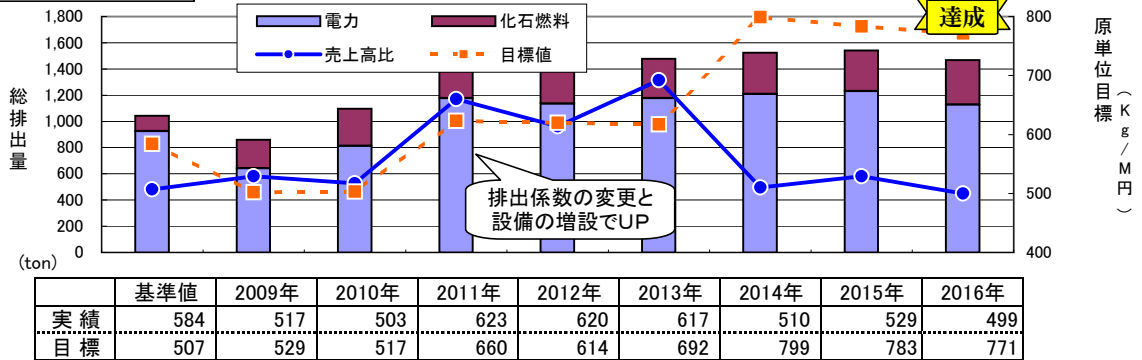
4. 環境目標・活動計画とその実績 (続き)

4.3 2014年度の環境目標と実績

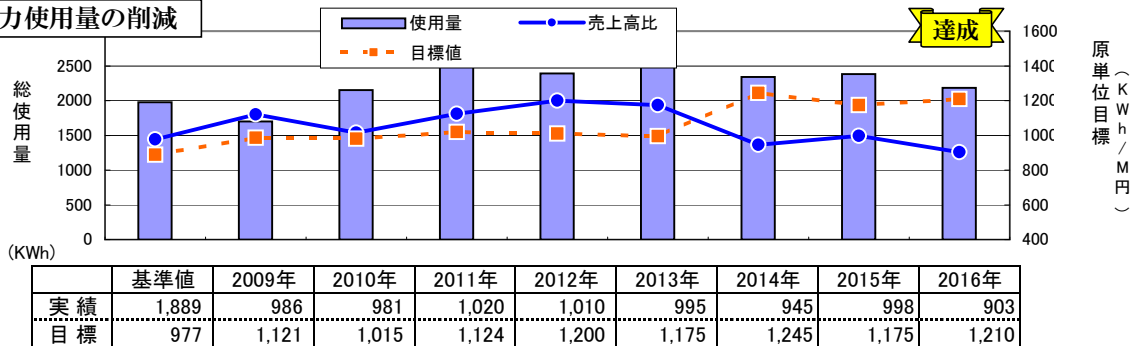
3. 実績の推移

2004年より開始いたしました、環境への取組は、2007年から「原単位目標」に移行して活動を進めてきました。以下に2007年度以降の目標及び実績値の推移を示します。

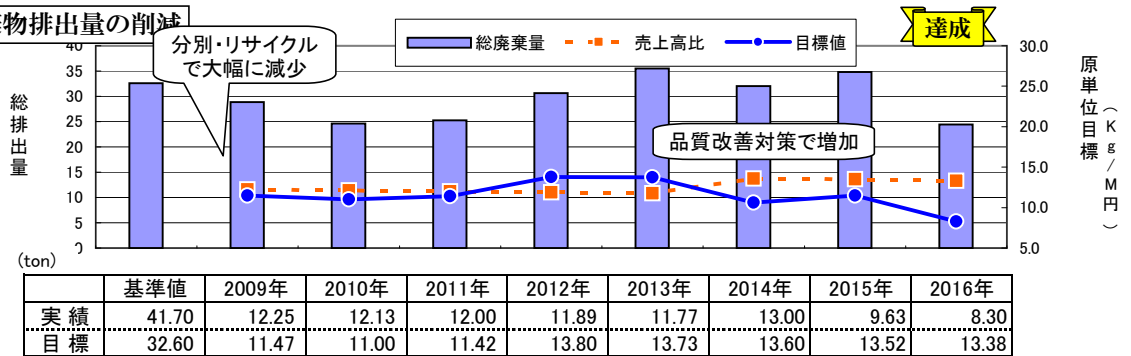
CO₂排出量の削減



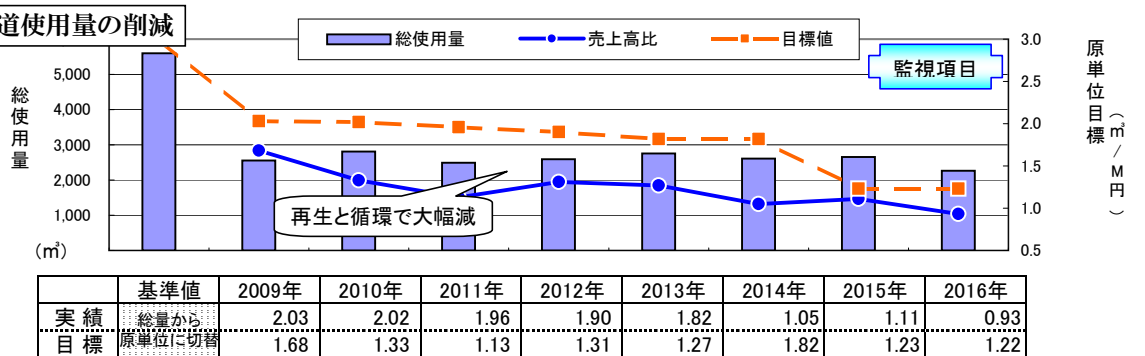
電力使用量の削減



廃棄物排出量の削減



水道使用量の削減



4. 環境目標・活動計画とその実績 (続き)

4.4 数値目標外の活動

1. 清掃・美化活動

工場及び地域(工場団地周辺)の環境整備並びに動植物との共生に貢献できる各種の自然環境の保護活動を推進しております。

1) 工場内美化、環境保全活動

5S委員会と安全衛生委員会で工場美化活動を展開し、

- ・工業団地内清掃作業に参加
- ・春と秋の工場周辺一斉清掃(長野地区)
- ・春、工場敷地隣接公道側溝の清掃(新潟地区)
- ・長野市道の土手草刈り及び毎日の歩道清掃作業

2) 地域ボランティア活動(新潟工場)

“クリーンキャンペーン”

第1回 : 2016年6月18日 17:20~18:30 当社参加者数 28名

第2回 : 2016年8月17日 17:30~18:30 当社参加者数 24名



春の一斉清掃作業



春の一斉清掃作業



春の一斉清掃作業



秋の一斉清掃作業

4. 環境目標・活動計画とその実績 (続き)

4.4 数値目標以外の活動 (続き)

2. 非常事態の想定と訓練

洗浄液・廃油、灯油等の溶液漏れの発生時を想定し訓練をしてきましたが、地震発生時の避難、初期消火及び救助を含めた「総合防災訓練」を10月に、工場毎で実施しました。



避難開始



避難終了後集合



放水訓練



消火器取扱訓練

3. グリーン調達(化学物質)への取り組み

環境対応製品の調達(グリーン購入)への取り組みには対応が済みましたので、購入時のチェック項目として、全ての調達品の含有化学物質調査“グリーン調達”に専任(化学物質担当)者を任命してRoHS/Reach規制、及び化管法、PRTR法への対応を進めています。

《含有調査件数》・・・ お客様回答件数

化学物質調査	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	記事・備考
調査受付件数	224	186	107	57	46	調査件数は減少
調査回答件数	201	188	107	57	46	
調査回答点数	2,165	3,475	2,488	1,024	1,546	調査点数は増加した
前年比 (%)	214%	161%	72%	41%	151%	

4. お客様・地域コミュニケーション

地域(外部)からの苦情受付及びお客様並びに公官庁、他からのアンケートや問い合わせへの回答を顧客コミュニケーションとしてカウントしています。

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	記事・備考
受付件数	6	7	51	51	26	24	
回答件数	6	7	51	51	26	24	

※ 2013年よりルール化してカウントしていますので、以前はカウント漏れがあると推測します。

《内訳》	環境への取り組み	6件	CSRへの取り組み	4件	産廃管理	0件
	紛争鉱物への対応	6件	BCPへの取り組み	5件	その他	3件

5. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価、並びに違反、訴訟等の有無

5.1 当社に適用となる主な環境関連法規制と遵守状況

当社に適用される環境関連法及び各種規制の情報収集とチェックを行っております。
過去及び2014年度に施行された、法令・条令及び関連の規制及び従来からの法規制に於ける点検の結果からは、改善の余地は認められましたが、違反となる項目、行為はありませんでした。

【添付-1】当社に適用される環境関連法規制と遵守状況

5.2 今年度の寄せられた違反、訴訟等

定期的に、当社に適用される環境関連法令及び各種規制の情報収集とチェックを行い、現在及び過去において、違反等の問題ないことを確認しております。

5.3 今年度の寄せられた苦情

今年度苦情は、ありませんでした。

6. 代表者による全体評価と見直し

当社は製品の設計・開発から、製造、品質保証、アフターサービス迄の品質改善を「ISO9001」で、環境への貢献を「エコアクション21」、と二つのマネジメントシステムを活用して、“時代を先取りしたものづくり”を目標に活動を推進しております。

環境改善活動から得られる電力削減は、CO2排出量の削減による環境への貢献と共に費用削減に直結し、スクラップ率改善と廃棄物の削減は資源の削減と共に企業の収益改善に直結するテーマであります。

エコアクション21の認証取得し12年目を迎えた、2016年度の活動は、成長を見込んだ目標設定でしたが、生産効率を上げる活動の結果、目標を達成することが出来ました。

但し、多品種小ロット化が進む中で、スクラップ率改善など、これ以上の改善が厳しい現状も課題として見えて来ました。

2017年度は、第五期中期計画の初年度となります。新たな3年間に当社が如何に地球環境に貢献出来るかを見据えてマネジメントを推進して、お客様の安心と信頼性向上に努力して参ります。

代表取締役社長 塚田 進

担当者 品質環境事務局 吉田 孝朗
連絡先 電話 026-296-1551
FAX 026-296-1631

当社に適用される環境関連法令

(「○」は適用(将来適用を含む。。「△」は適用されないが、把握・管理をする。「－」は適用されない)

法令等の名称		工場		
		駒沢工場	穂保工場	新潟工場
法令	環境基本法	○	○	○
	循環型社会形成推進基本法	○	○	○
	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃掃法)	○	○	○
	騒音規制法	○	○	○
	振動規制法	○	○	○
	下水道法	○	○	－
	浄化槽法	－	－	○
	特定工場における公害防止組織の整備に関する法律	－	○	－
	地球温暖化対策の推進に関する法律	○	○	○
	資源の有効な利用の促進に関する法律	○	○	○
	特定家庭用機器再商品化法	○	○	○
	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律	○	○	○
	特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律	○	○	○
	特定物質の規制によるオゾン層の保護に関する法律	○	○	○
	使用済自動車の再資源化等に関する法律	○	○	○
	環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律	○	○	○
	労働安全衛生法	○	○	○
	消防法	○	○	○
	特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律(化管法)	△	△	△
	工場立地法	－	－	－
	エネルギーの使用の合理化に関する法律	－	－	－
	大気汚染防止法	－	－	－
	水質汚濁防止法	－	－	－
	悪臭防止法	－	－	－
	土壌汚染対策法	－	－	－
	毒物及び劇物取締法	－	－	－
	ダイオキシン類対策特別措置法	－	－	－
	ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法	－	－	－
	電気事業法 電気関係報告規則	○	○	－
	容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進に関する法律	－	－	－
	高圧ガス保安法	－	－	－
	長野市環境基本条例	○	○	－
	長野市公害防止条例	○	○	－
	長野市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	○	○	－
	長野市下水道条例	○	○	－
	長野市建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律施行細則	○	○	－
	新潟県環境基本条例	－	－	○
	新潟県生活環境の保全等に関する条例	－	－	○
	新潟県産業廃棄物等の適正な処理の促進に関する条例	－	－	○
	新潟県使用済自動車の再資源化等に関する法律施行細則	－	－	○
	フロン排出抑制法	○	○	○
その他の規制	協定等のその他の規制はない。	－	－	－

当社に適用される環境関連法令

(「○」は適用(将来適用を含む。。「△」は適用されないが、把握・管理をする。「-」は適用されない)

法令等の名称		工場		
		精密プレス課	開発部	
法令	環境基本法	○	○	
	循環型社会形成推進基本法	○	○	
	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃掃法)	○	○	
	騒音規制法	○	-	
	振動規制法	○	-	
	下水道法	○	○	
	浄化槽法	-	-	
	特定工場における公害防止組織の整備に関する法律	○	-	
	地球温暖化対策の推進に関する法律	○	○	
	資源の有効な利用の促進に関する法律	○	○	
	特定家庭用機器再商品化法	○	○	
	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律	○	○	
	特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律	○	○	
	特定物質の規制によるオゾン層の保護に関する法律	○	○	
	使用済自動車の再資源化等に関する法律	○	○	
	環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律	○	○	
	労働安全衛生法	○	○	
	消防法	○	○	
	特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律(化管法)	△	△	
	工場立地法	-	-	
	エネルギーの使用の合理化に関する法律	-	-	
	大気汚染防止法	-	-	
	水質汚濁防止法	-	-	
	悪臭防止法	-	-	
	土壌汚染対策法	-	-	
	毒物及び劇物取締法	-	-	
	ダイオキシン類対策特別措置法	-	-	
	ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法	-	-	
	電気事業法 電気関係報告規則	○	○	
	容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進に関する法律	-	-	
	高圧ガス保安法	-	-	
	長野市環境基本条例	○	○	
	長野市公害防止条例	○	○	
	長野市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	○	○	
	長野市下水道条例	○	○	
	長野市建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律施行細則	○	○	
	新潟県環境基本条例	-	-	
	新潟県生活環境の保全等に関する条例	-	-	
	新潟県産業廃棄物等の適正な処理の促進に関する条例	-	-	
	新潟県使用済自動車の再資源化等に関する法律施行細則	-	-	
	フロン排出抑制法	○	○	
その他の規制	協定等のその他の規制はない。	-	-	

